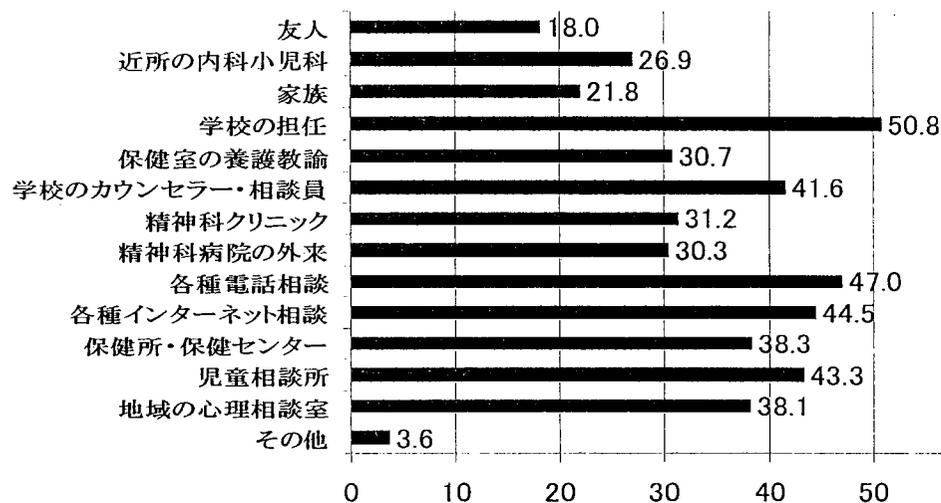
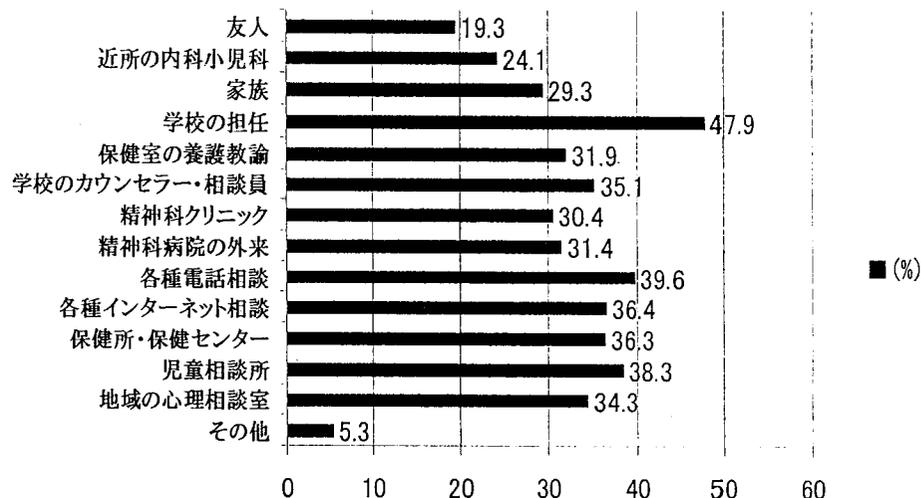


# 精神的不調のために困った場合、相談しにくい、または、相談先として抵抗のある相談相手や機関はありますか？

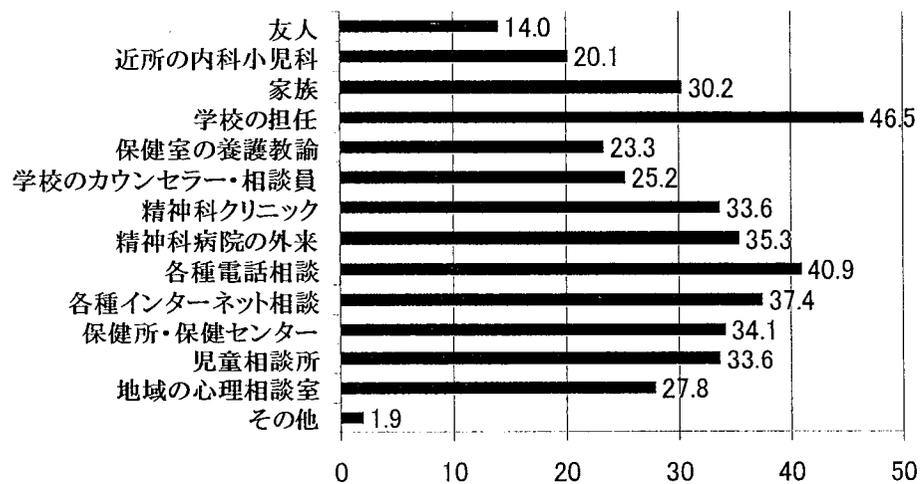
## 中学生 (N=450、長崎県)



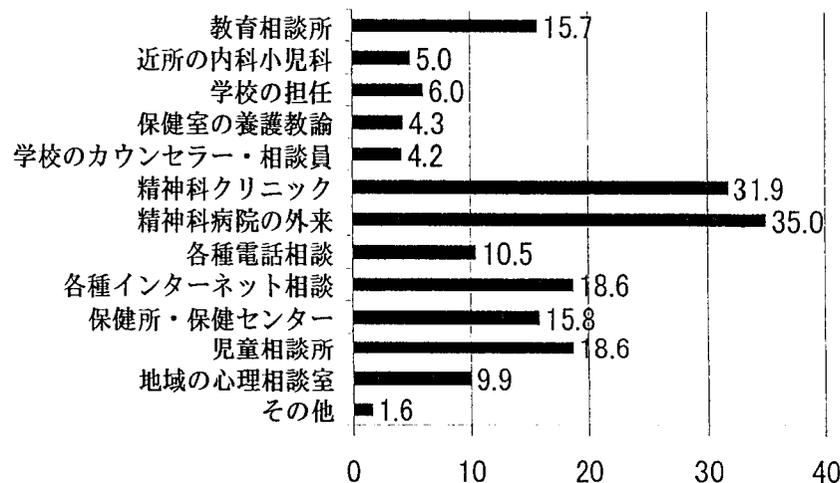
## 高校生 (N=9566、高知県)



## 大学生 (N=586、愛知県)

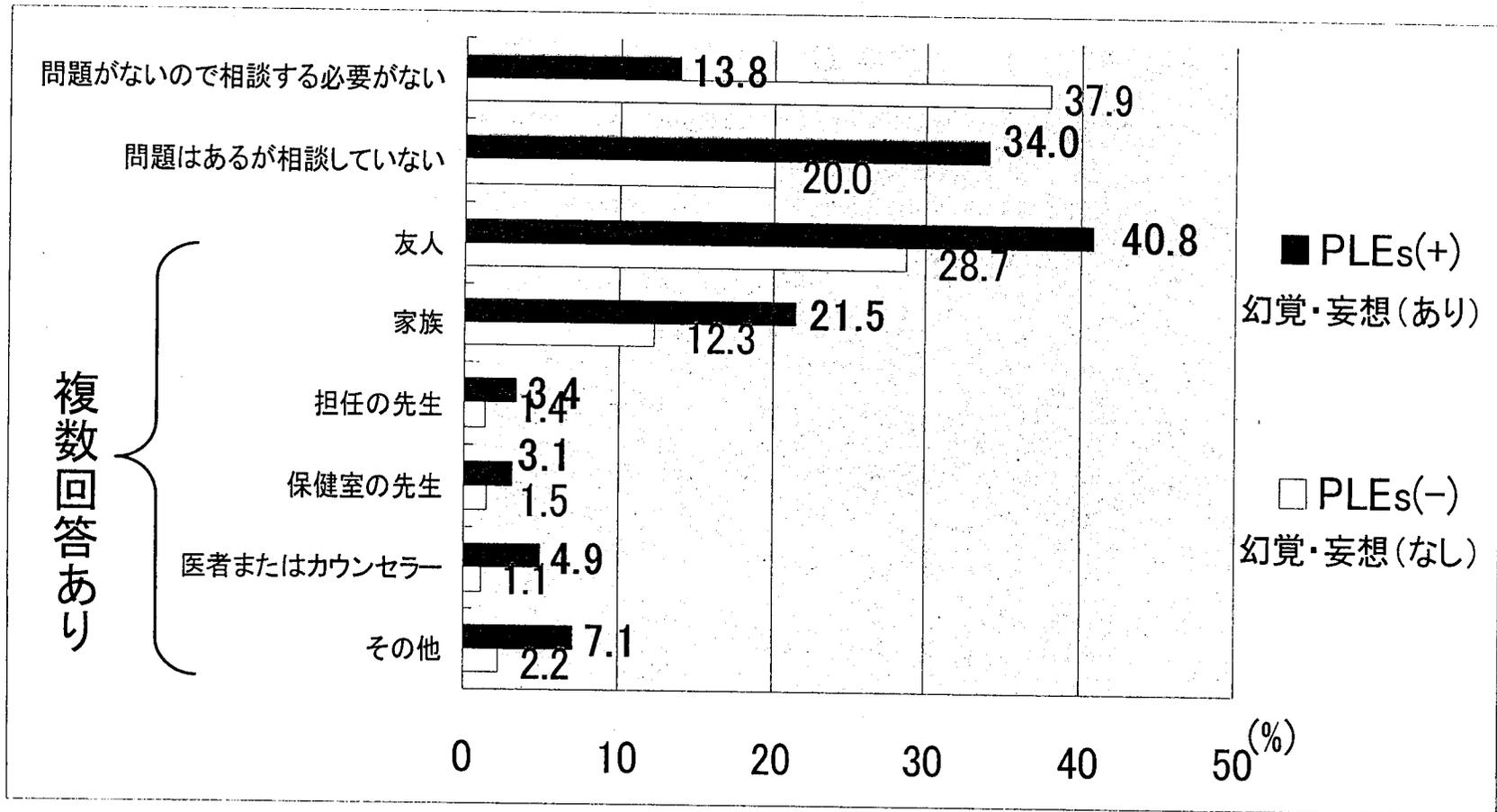


## 小・中学生保護者 (N=645、三重県)



# 高校生の相談先

過去6カ月間に苦痛感をともなう幻覚・妄想症状(PLEs)を複数回体験している若者(3.4%)  
誰に相談・支援を求めているか?(高校生 N=9566)



平成20年度厚生労働科学研究こころの健康科学研究事業

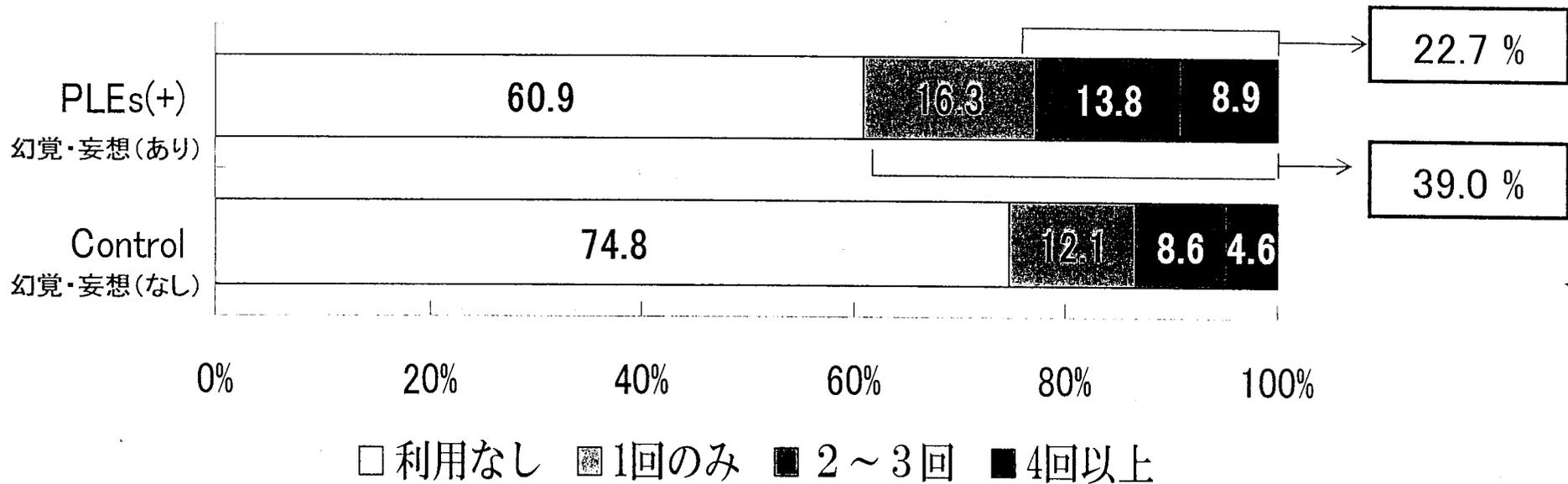
高知県における調査(2008年12月)

「思春期精神病理の疫学と早期介入方策に関する研究」(研究代表者:岡崎祐士)

研究分担者:西田淳志、研究協力者:下寺信次

# 高校生の保健室利用状況

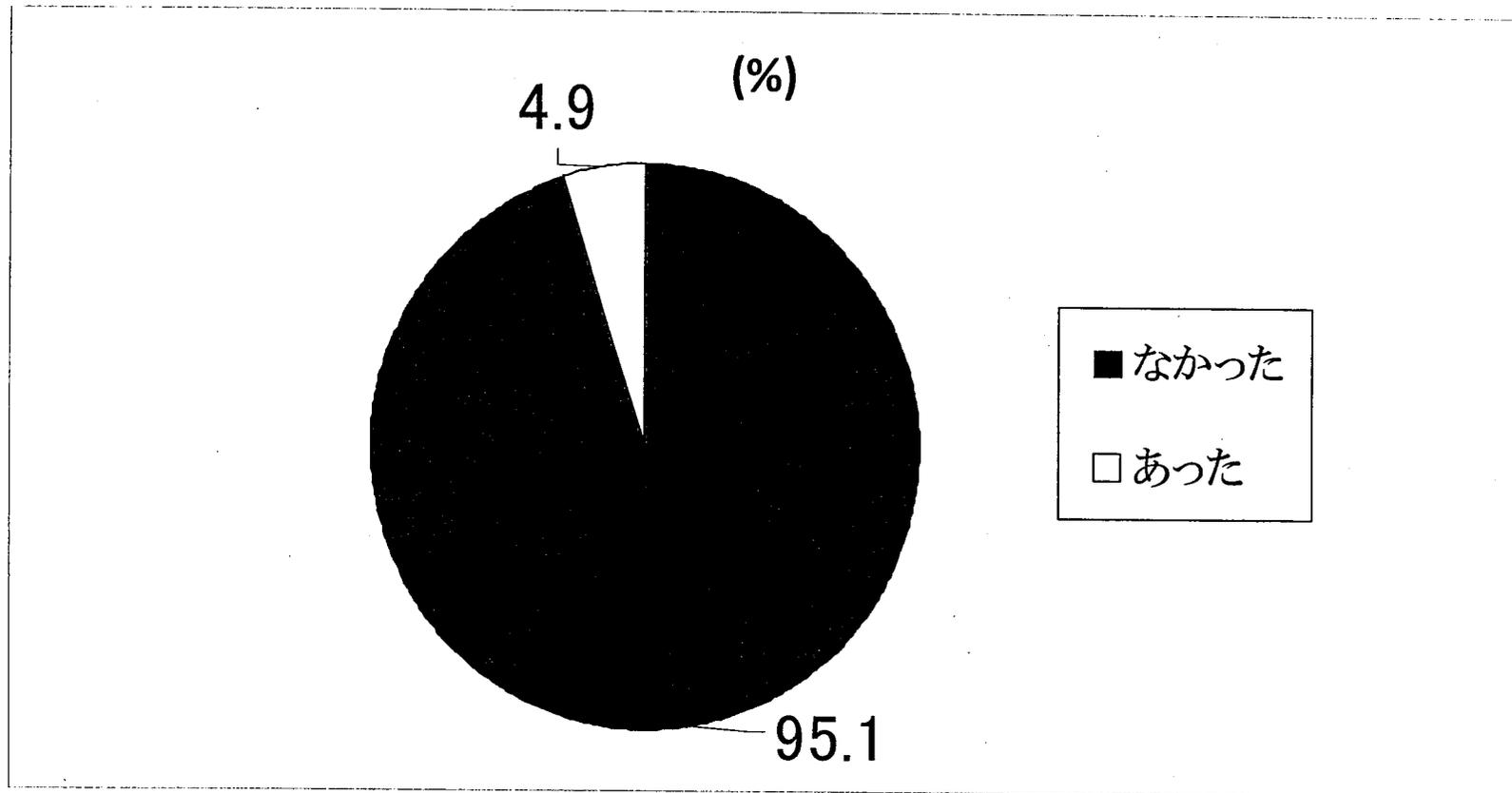
過去6カ月間に苦痛感をともなう幻覚・妄想症状(PLEs)を複数回体験している若者(3.4%)  
過去1カ月間の保健室の利用状況 (高校生N= 9511)



高知県における調査(2008年12月)

平成20年度厚生労働科学研究こころの健康科学研究事業  
「思春期精神病理の疫学と早期介入方策に関する研究」(研究代表者:岡崎祐士)  
研究分担者:西田淳志、研究協力者:下寺信次

ご家族が精神疾患を発病される以前に、  
精神疾患について学ぶ機会がありましたか？  
(患者家族調査)



平成20年度厚生労働科学研究こころの健康科学研究事業

プレ調査(東京都)2009年3月

「思春期精神病理の疫学と早期介入方策に関する研究」(研究代表者:岡崎祐士)

研究分担者:西田淳志、研究協力者:田上美千佳、新村順子、石倉習子

## 中間報告を踏まえた普及啓発の対象の考え方

- 若者の多くが、精神的不調を抱えた際、まず、「友人」、「家族」に相談すると回答している。また、実際に、精神病様症状を体験し、精神的不調を抱える若者の多くが「友人」、「家族」に相談をしている。
- このため、相談を受ける側の若者が適切な対応をし、早期支援に導けるよう若者を対象とした普及啓発を重点的に行うことが必要と考えられる。
- また、「家族」については、精神疾患について学ぶ機会が少ないことも示唆されており、家族が適切な対応をし、早期支援に導けるよう普及啓発を行うことが必要と考えられる。
- 保護者が若者の精神的不調に気づいた際、相談しやすい相談先としては、「担任」をはじめとし、「養護教諭」、「スクールカウンセラー」など学校関係者が上位にあげられている。また、「近所の内科・小児科」に相談する保護者も多い。
- このため、保護者を介して若者の精神的不調に関する相談が持ち込まれる可能性が高い学校関係者、近所の内科・小児科など一般医が、精神的不調を抱える若者やその保護者を適切な早期支援に導けるようにするための啓発と連携が必要と考えられる。

# 精神疾患に関するメディア報道状況調査

## 1. 調査目的

効果的な普及啓発の在り方の検討に当たっての基礎資料とするため精神疾患等に関するメディア報道状況を、糖尿病等他分野の疾患との比較も交え分析すること。

## 2. 調査方法

### ○調査対象メディア

全国紙:4紙 通信社:2社 地方紙:8紙

### ○記事検索方法

新聞記事の検索には、「うつ」「統合失調症」「精神障害」「精神科」の4つのキーワードを用いた。また、比較対象となる疾患として、「HIV/AIDS」「糖尿病」の2つのキーワードを用いて検索を行った(下表参照)。

### ○検索期間:平成11年3月～平成21年2月)

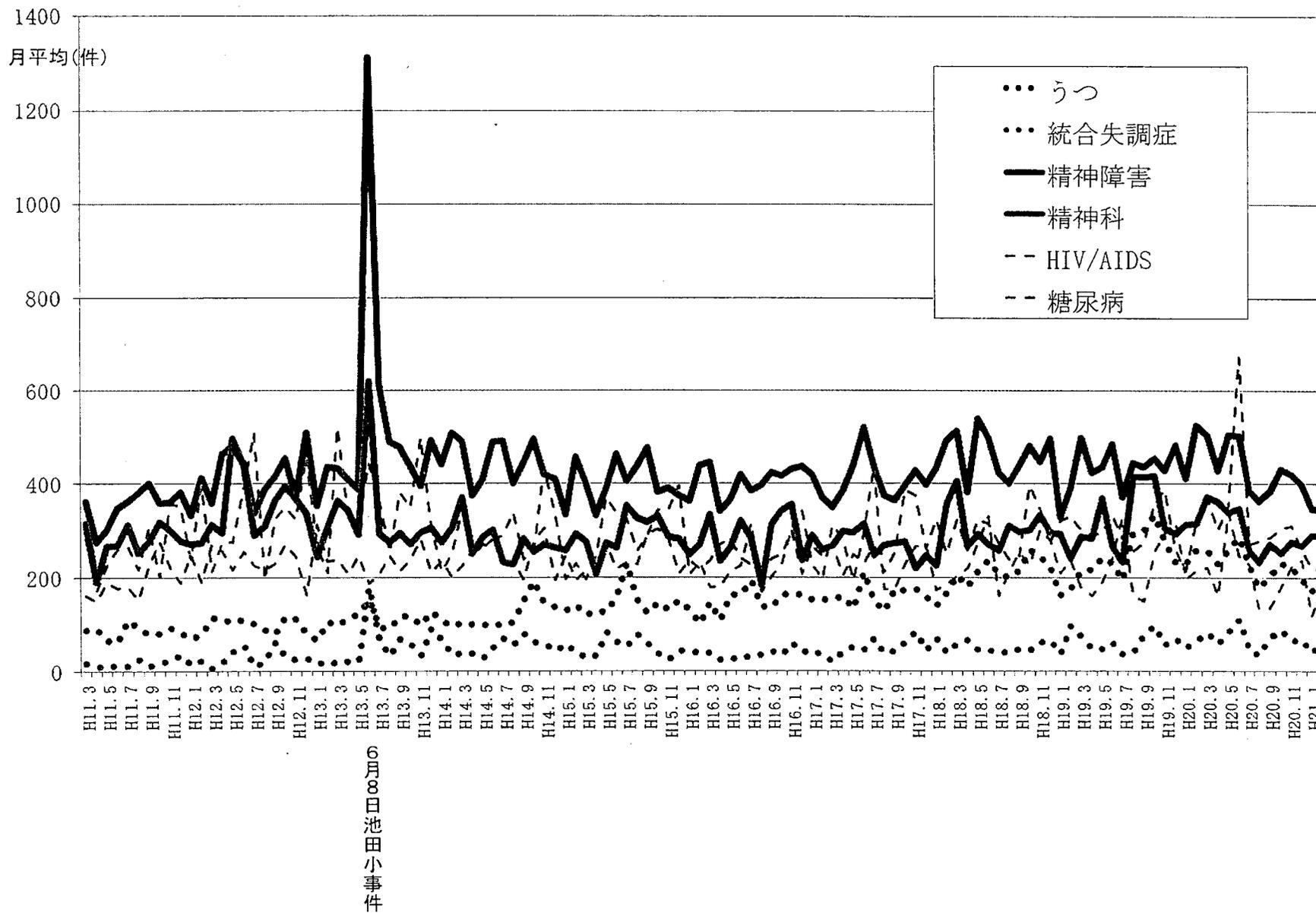
○抽出記事数:上記で挙げられた6つのキーワードそれぞれにつき、平成11年3月から平成21年2月までの過去10年分のデータ1,200件(各月10件)を無作為抽出した(合計で7,200件の新聞記事を抽出した)。

### ○分析方法:

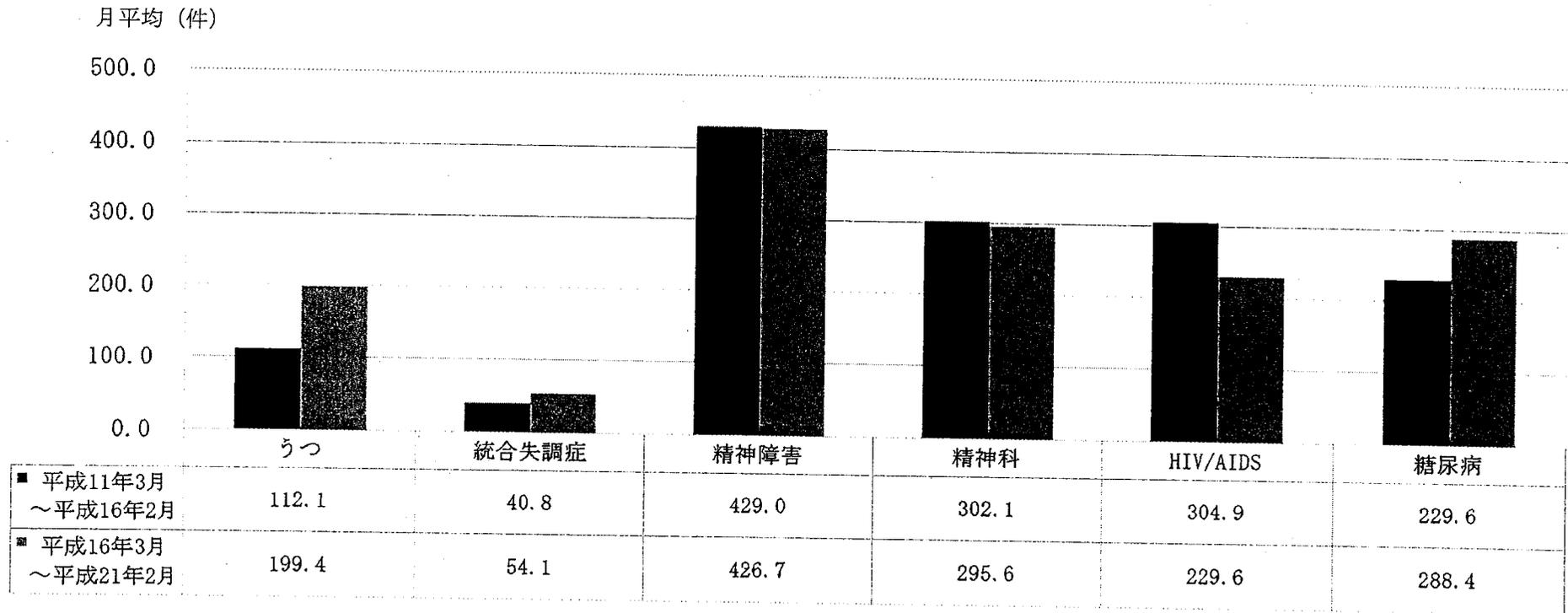
各キーワードの分析にあたり、データマイニング(データの集合の中から知識を取り出す技術)を行った。キーワード毎の単語群を対象として、高頻度に発生する単語と単語の間を結ぶアイテムを抽出し、グラフとして視覚化した。

キーワード	同義語
うつ	うつ状態, うつ病, 抑うつ, 産後うつ, 抗うつ, うつ症状, うつ診断, 仮面うつ, 非定型うつ, うつ薬, 鬱状態, 鬱病, 抑鬱, 産後鬱, 抗鬱, 鬱症状, 鬱診断, 仮面鬱, 非定型鬱, 鬱薬
統合失調症	精神分裂病
精神障害	精神病, 精神疾患, メンタル, こころの病, 心の病
精神科	特になし
HIV/AIDS	エイズ
糖尿病	特になし

# 新聞記事ヒット件数(平成11年3月～平成21年2月)



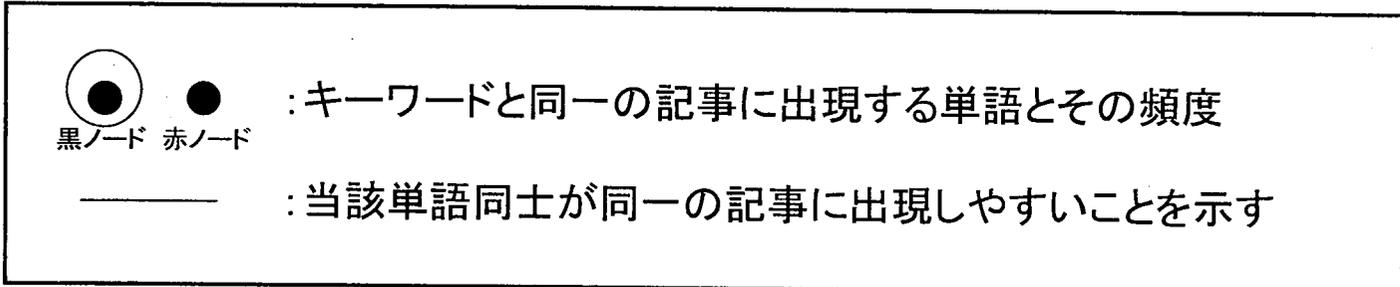
# キーワード毎の記事ヒット件数の経年的変化(月平均)



# 主要新聞報道における精神疾患等に係るキーワードと同一記事に頻出する単語について

	うつ		統合失調症		精神科		精神障害		HIV/AIDS		糖尿病	
	単語	回数	単語	回数	単語	回数	単語	回数	単語	回数	単語	回数
1	自殺	3064	精神障害	2063	病院	1605	精神障害	3083	エイズ	4814	糖尿病	5033
2	うつ病	2640	障害	1846	患者	1317	会	1709	感染	3983	患者	2105
3	相談	1278	患者	1640	精神科	1263	障害	1390	HIV	2187	治療	1633
4	症状	1143	社会	1563	精神科医	1199	社会	1364	ウイルス	1259	健康	1502
5	治療	1120	統合失調症	1492	精神	1129	支援	1163	検査	1196	運動	1230
6	心	1087	精神	1449	相談	1096	病院	1127	患者	1191	食事	1065
7	会	1077	会	1289	医療	1060	施設	1109	治療	905	肥満	1060
8	患者	1068	病院	1277	心	1002	患者	1027	日本	788	脂肪	1008
9	障害	1013	家族	1227	会	943	精神	1014	国	777	インスリン	1007
10	自分	1006	入院	1016	医師	942	福祉	1006	薬	774	医療	1004
11	家族	982	治療	997	自分	925	家族	949	予防	729	研究	1001
12	ストレス	963	医療	975	治療	919	地域	926	世界	703	血糖値	982
13	薬	950	被告	947	障害	911	入院	856	感染症	685	薬	943
14	精神	915	病気	898	社会	869	生活	849	会、対策	684	予防	929
15	医師	861	事件	884	自殺	837	医療	774	報告	633	型	915
16	社会	860	薬	836	事件	816	センター	743	問題	598	病院	909
17	状態	854	支援	811	子ども	789	相談	739	医療	582	症	861
18	女性	784	生活	807	家族	733	心	680	女性	580	日本	804
19	病院	780	福祉	787	女性	729	心の病	628	研究	560	会	775
20	うつ	777	施設	737	問題	716	保健	603	数	532	教授	755

「精神疾患等に係るキーワードと同一記事に出現しやすい単語」と「単語同士の関連性」について



(参考)

黒ノードは、出現頻度の高い語である。黒ノードを結ぶ黒リンクは、同じ文章内で同時に出現する確率が高い黒ノードの単語同士を結ぶ。この黒ノードと黒リンクの塊を「島」と呼び、主な主張や重要な事柄を示す(たとえば、図の単語6,7,8,9,10の単語群からなる島4)。また、一単語のみでも「島」は形成される(たとえば、図の単語4や単語5)。

一方、赤ノードは出現頻度の低い語を意味している。上述の「島」と「島」を結ぶ赤ノードと赤リンクは「橋」と呼ばれ、頻出頻度は低いものの黒ノードと同じ文章内で同時に出現し、「島」と「島」との関係の意味する。黒ノードであっても「橋」となることがある(たとえば、図の単語4)。

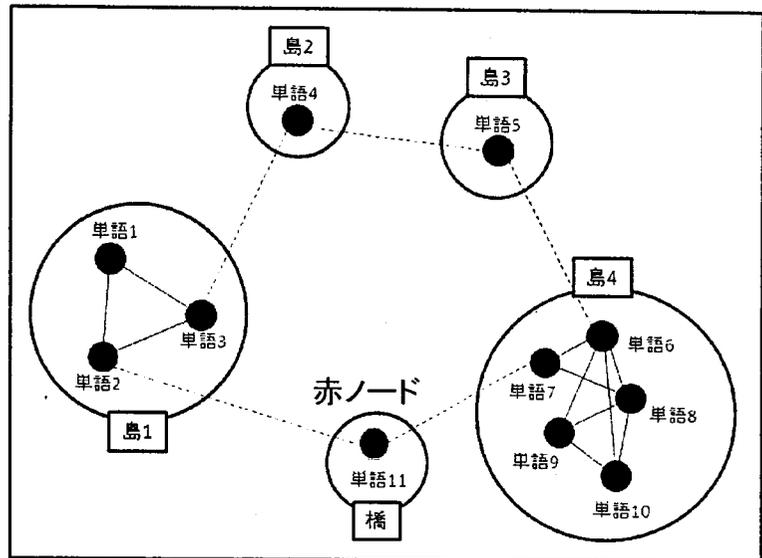
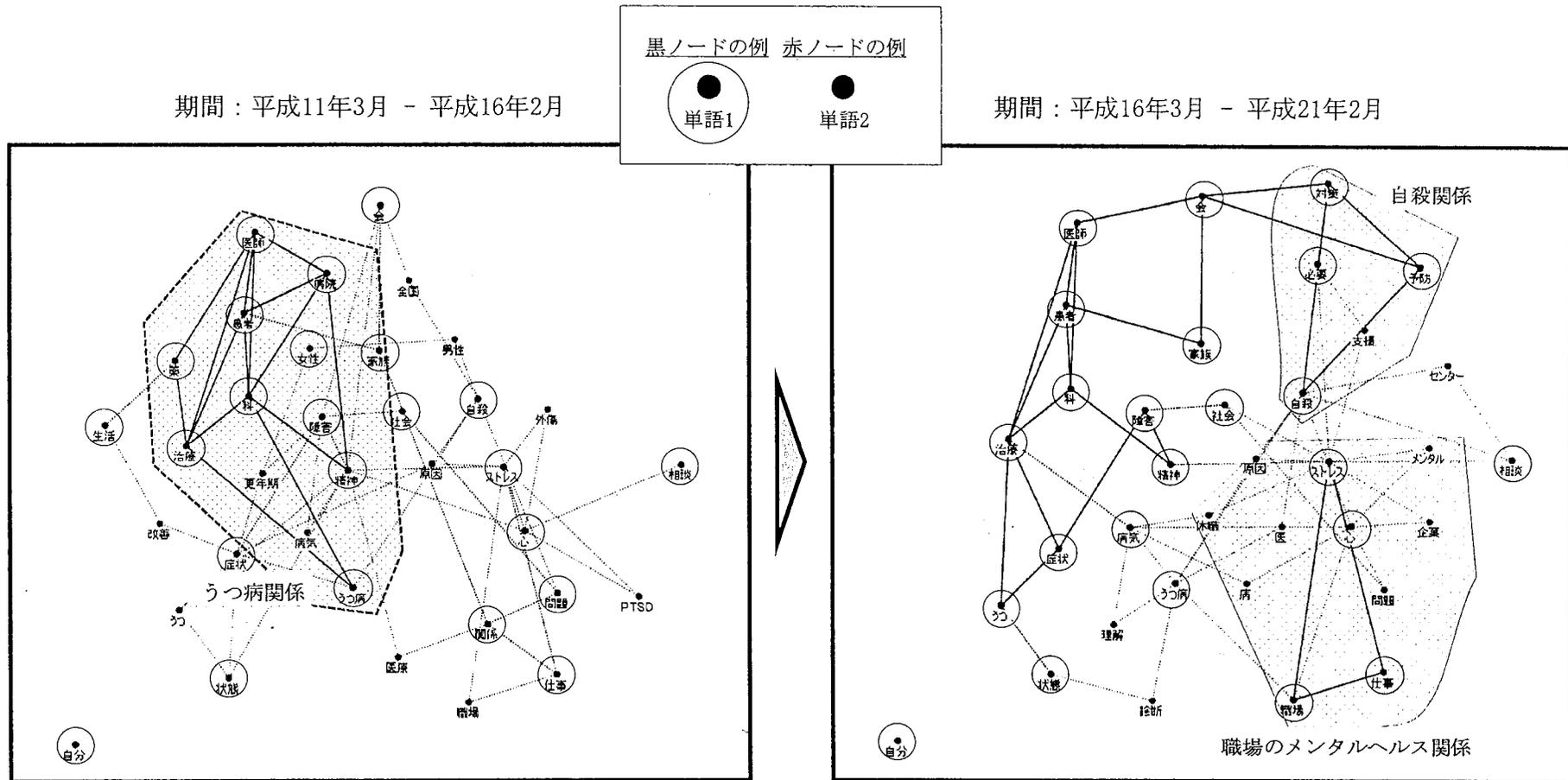


図 キーグラフアルゴリズムによるテキストデータの視覚化

# 「うつ」の経年的変化



注1) 経年的変化を視覚的に表示するために、平成11年3月～平成16年2月までのデータを、背景に薄い色で表示した。

注2) 実線で囲まれたエリア：平成16年3月 - 平成21年2月に特徴的な島  
 破線で囲まれたエリア：平成11年3月 - 平成16年2月に特徴的な島

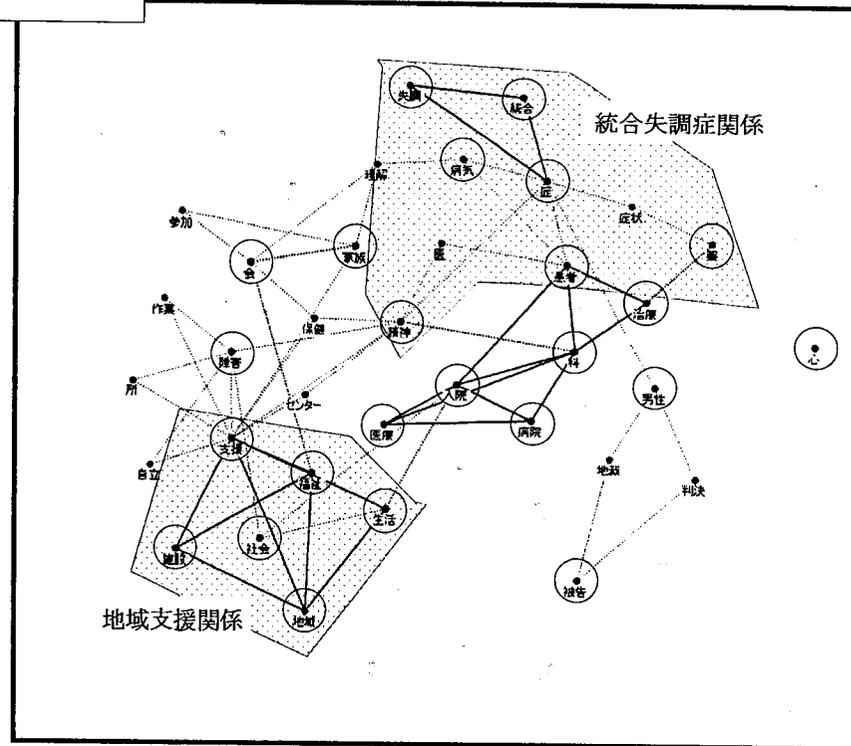
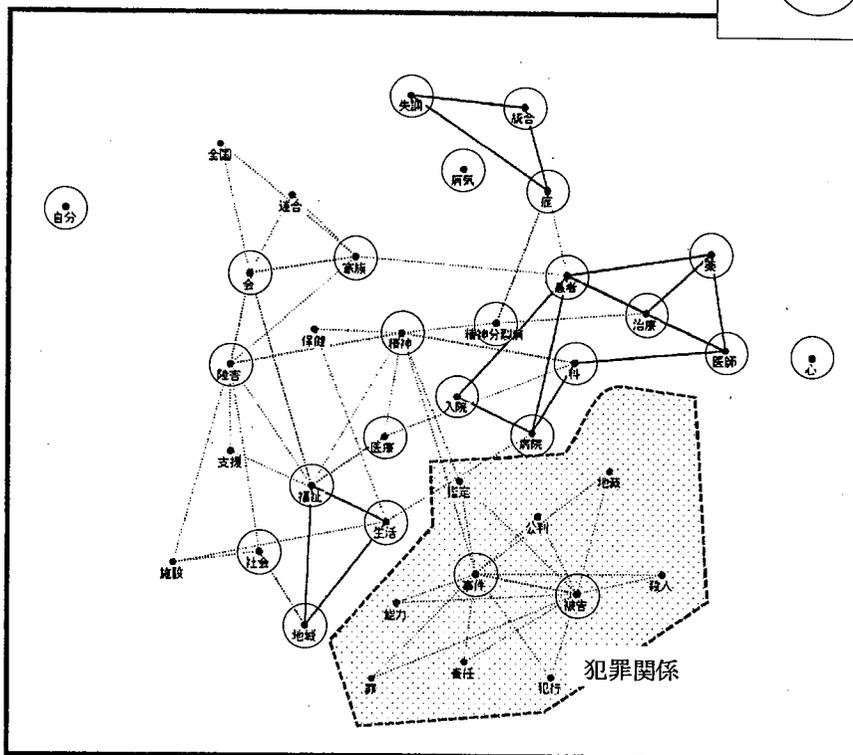
# 「統合失調症」の経年的変化

期間：平成11年3月 - 平成16年2月

黒ノードの例 赤ノードの例



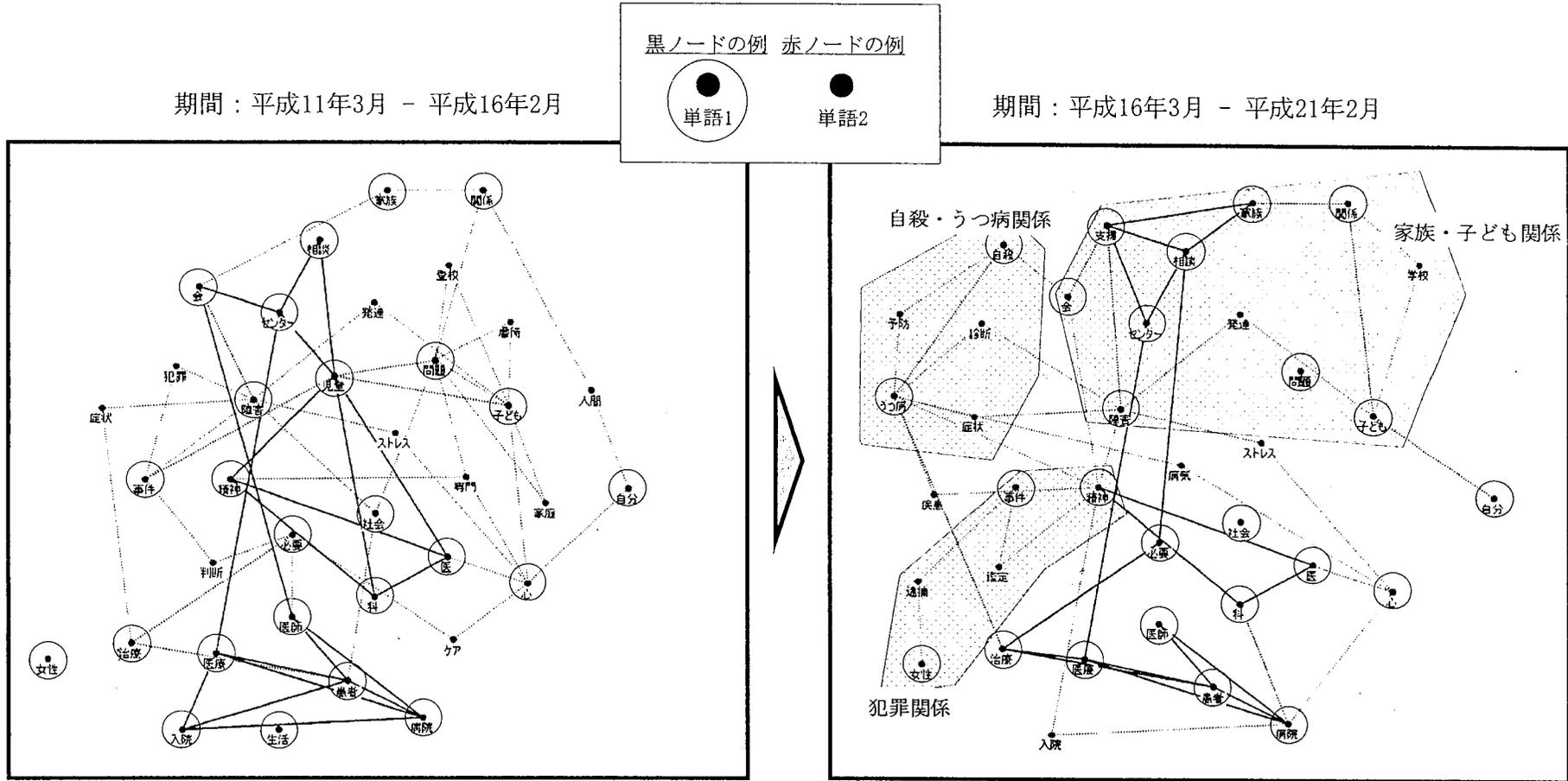
期間：平成16年3月 - 平成21年2月



注1) 経年的変化を視覚的に表示するために、平成11年3月～平成16年2月までのデータを、背景に薄い色で表示した。

注2) 実線で囲まれたエリア：平成16年3月 - 平成21年2月に特徴的な島  
破線で囲まれたエリア：平成11年3月 - 平成16年2月に特徴的な島

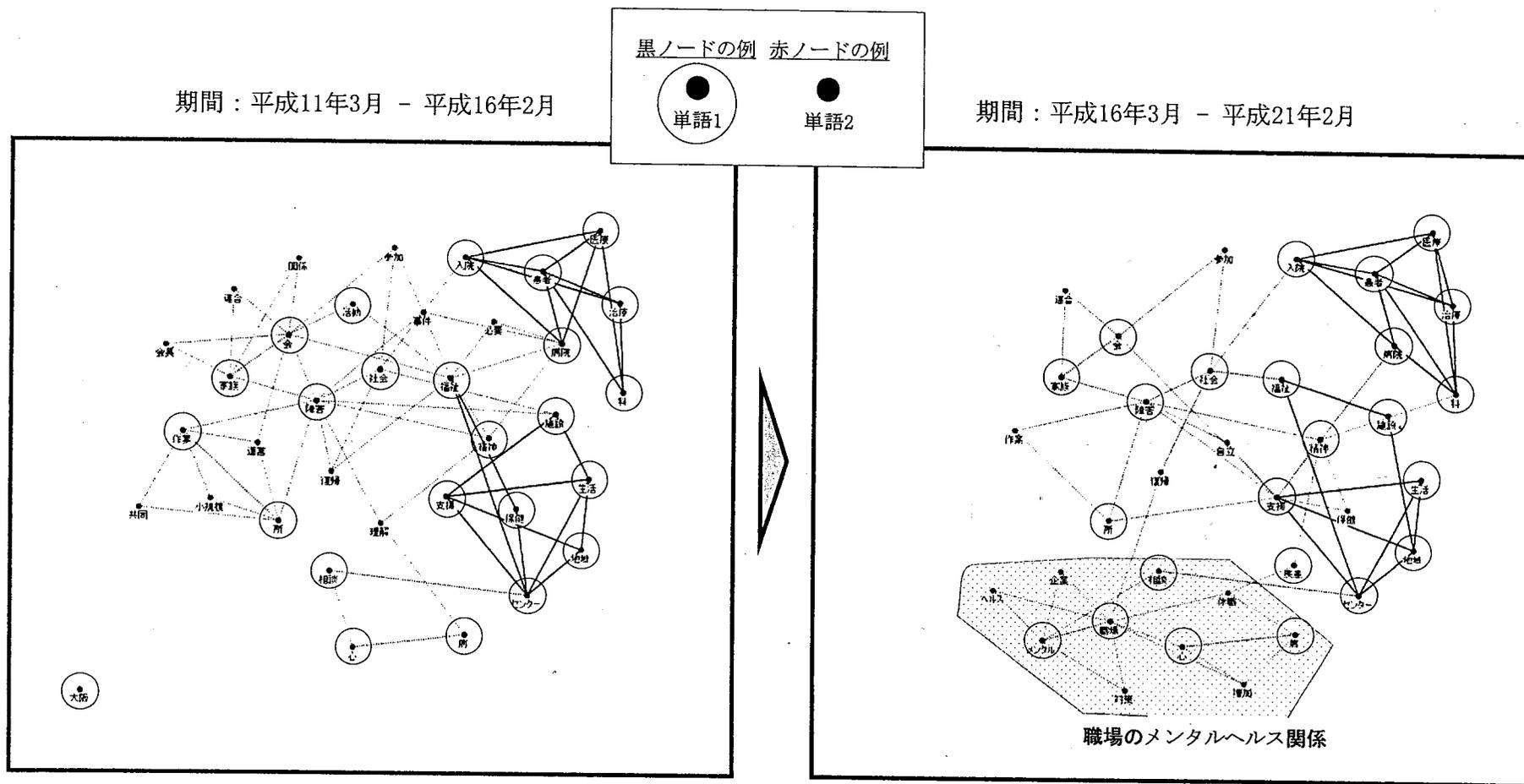
# 「精神科」の経年的変化



注1) 経年的変化を視覚的に表示するために、平成11年3月～平成16年2月までのデータを、背景に薄い色で表示した。

注2) 実線で囲まれたエリア：平成16年3月 - 平成21年2月に特徴的な島  
 破線で囲まれたエリア：平成11年3月 - 平成16年2月に特徴的な島

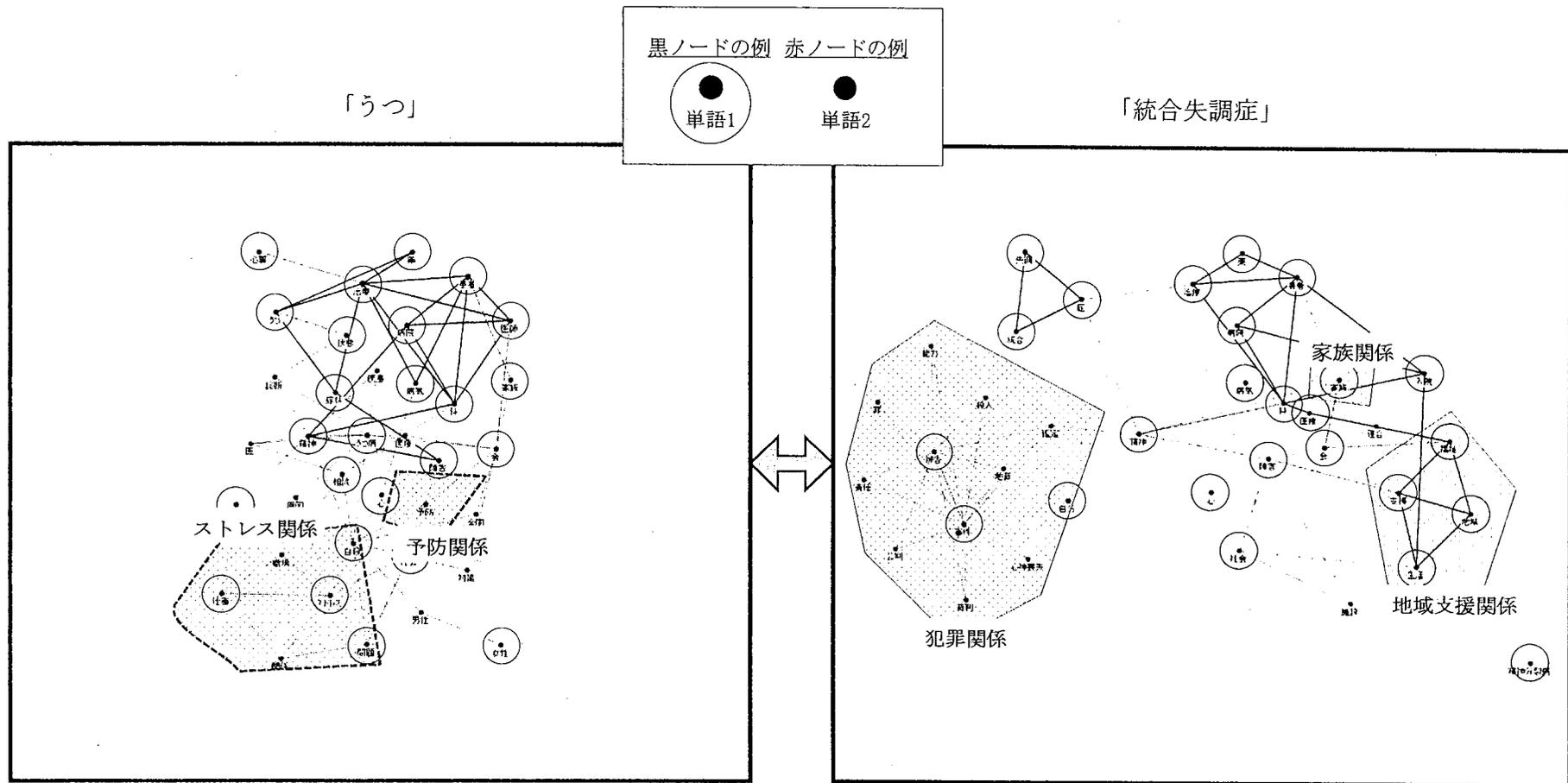
# 「精神障害」の経年的変化



注1) 経年的変化を視覚的に表示するために、平成11年3月～平成16年2月までのデータを、背景に薄い色で表示した。

注2) 実線で囲まれたエリア：平成16年3月 - 平成21年2月に特徴的な島  
 破線で囲まれたエリア：平成11年3月 - 平成16年2月に特徴的な島

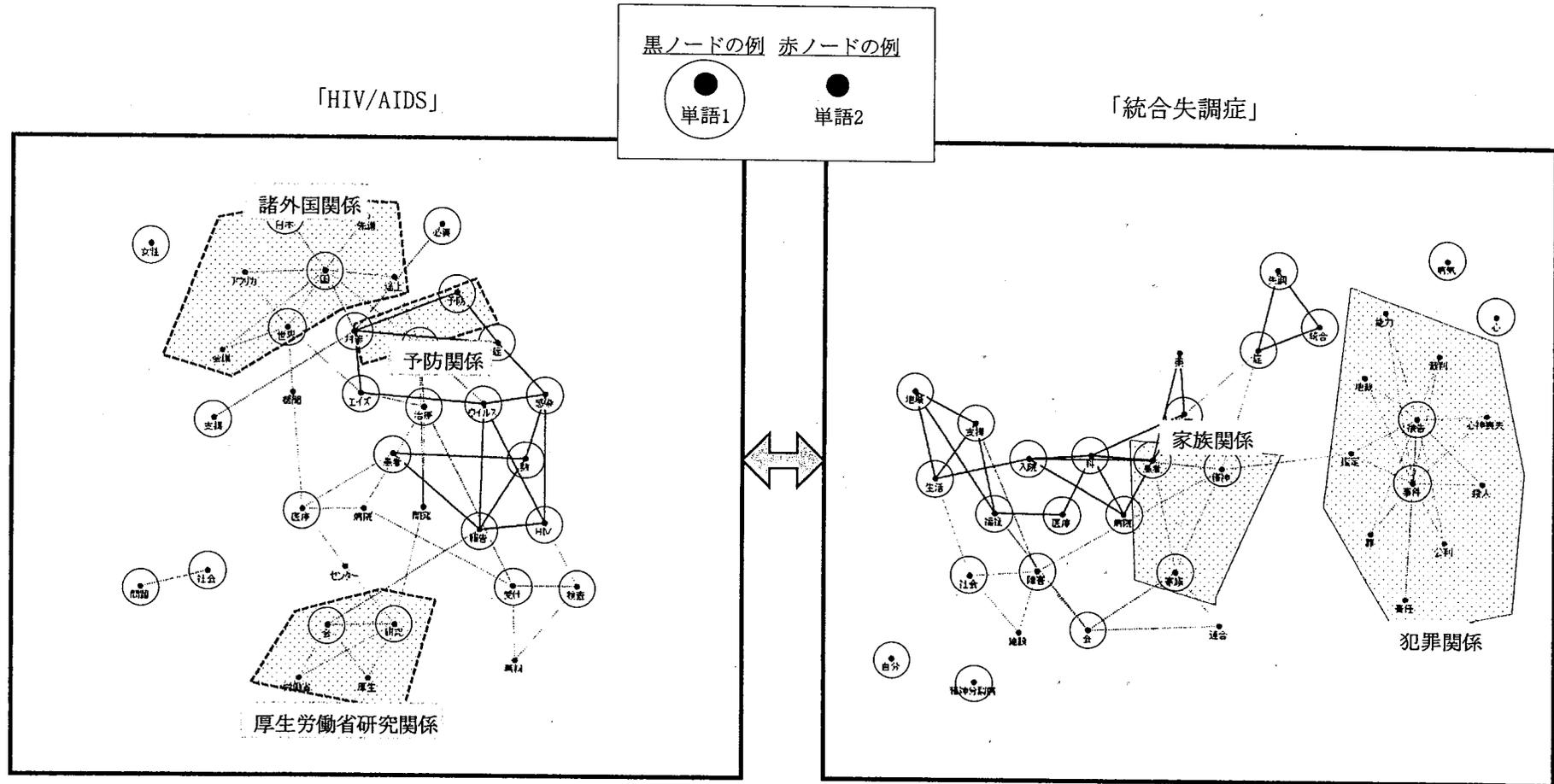
# 「うつ」と「統合失調症」の報道状況比較



注1) 視覚的に比較するために、「うつ」のデータを背景に薄い色で表示した。

注2) 実線で囲まれたエリア： 「統合失調症」に特徴的にみられる島  
破線で囲まれたエリア： 「うつ」に特徴的にみられる島

# 「HIV/AIDS」と「統合失調症」の報道状況比較



注1) 視覚的に比較するために、「HIV/AIDS」のデータを背景に薄い色で表示した。

注2) 実線で囲まれたエリア： 「統合失調症」に特徴的にみられる島  
破線で囲まれたエリア： 「HIV/AIDS」に特徴的にみられる島